

8月21日に新潟市で開催された

「全国専修学校各種学校総連合会 第54回北関東信越ブロック大会」に  
栃木県専修学校各種学校連合会の会員校が参加しました。

毎年持ち回りで開催されているブロック大会が、幹事県の新潟県専門学校協会の運営により、全専各連や茨城・栃木・群馬・長野・新潟県の教職員が参加し、来賓に国や各県関係者をお迎えして、新潟市内のホテルイタリア軒で盛大に開催されました。栃木県専修学校各種学校連合会からは、石川理事長をはじめ会員校5校15名の教職員の皆さんが参加しました。

開会セレモニーでは、新潟県専門学校協会の荒井英之会長や北関東信越ブロックの群馬県専修学校各種学校連合会の小倉基宏会長、全国専修学校各種学校総連合会（全専各連）の多（おおの）忠貴会長の挨拶に続き、来賓の赤池参議院議員や笠島公一新潟県副知事から祝辞をいただきました。

次の研修会では、(株)Gugenka代表取締役の三上昌史氏から「AIとXRが日常を便利にする少し先の未来」と題した基調講演があり、その後に文部科学省と全専各連、そしてブロック5県の行政職員から現状の報告がありました。栃木県は文書学事課の横井美咲主事が、①専修・各種学校の状況、②中高生卒業後の進路状況、③県からの助成状況について説明しました。

次の全体会議では、大会決議を読み上げて拍手で承認された後、来年度の開催地を長野県とすることを決定して閉会しました。



開会セレモニーで挨拶する新潟県荒井会長と登壇者の皆さん



司会から紹介される栃木県の石川理事長



栃木県の行政報告をする  
県文書学事課の横井主事



研修会の様子 手前は栃木県から参加した教職員の皆さん